

そうか 市議会報

年4回 毎定例会後発行

No.2 1 5

平成27年5月発行
発行 草加市議会
編集 議会運営委員会
草加市高砂1-1-1
☎048(922)2489 議事課直通
FAX048(922)3154 議事課直通
http://www.soka-shigikai.jp

おもな内容

市長提出議案の概要1ページ
市政に対する一般質問2～3ページ
代表質問4～5ページ
予算特別委員会の審査概要6ページ
特別会計・企業会計予算の審査概要7ページ
委員会提出議案の概要7ページ
議員提出議案の概要7ページ
審議結果一覧8ページ



2月定例会

平成27年2月定例会は、2月25日から3月23日までの27日間にあわたり開かれ、市長から提出された35議案を原案どおり可決・同意しました。委員会提出議案は、草加市議会委員会条例の一部を改正する条例が提出され、可決しました。議員提出議案は、ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書など3議案が提出され、2議案を可決しました。開会日には、平成27年度の市政運営に臨む市長の政治姿勢や所信について施政方針演説が行われました。代表質問では、各会派代表4人の議員がそれぞれ質問を行いました。市長提出議案に対する質疑では、延べ3人の議員が質疑を行い、市政に対する一般質問では、14人の議員が4日間にわたり諸施策について執行部の方針や見解をそれぞれたどりました。

平成27年度草加市一般会計予算など、
市長提出35議案と委員会提出1議案、
議員提出2議案を可決

予算

平成26年度草加市 一般会計補正予算(第6号)

既定の予算総額から4億7400万7000円を減額し、予算総額を685億6525万1000円とするものです。

歳入は、主に、寄附金及び諸収入の追加並びに県支出金、繰入金及び市債の減額を行うもので、歳出は、主に、市内限定プレミアム商品券事業費、後期高齢者医療広域連合事務事業費及び国民健康保険特別会計繰出金の追加並びに民間保育推進事業費、都市計画街路整備事業費及び草加市八潮市消防広域化事業費の減額を行うものです。継続費の補正は、第二庁舎建

替事業(第二庁舎建設工事・監理業務委託)の変更を行うものです。

平成27年度 草加市一般会計予算

当初予算総額は703億3800万円で、前年度と比較して4.2%、金額にして28億3600万円の増とするものです。歳入の主なものは、市税343億1619万7000円、地方交付税33億5000万円、国庫支出金115億7249万3000円、県支出金43億1274万4000円、繰入金33億2625万5000円、市債60億7540万円などです。

歳出は、新田駅東口地区・西口地区の都市基盤整備の推進、松原大橋の歩道拡幅、50歳以上の人口の口腔がん検診の実施、民間認可保育園3園の開設、公立保育園の耐震診断や補強工事の実施、草加松原をはじめとした地域資源を活用した取り組みの推進など、施政方針演説の中の主要な施策を中心に、必要な経費を計上するものです。

平成27年度草加市立病院 事業会計予算

業務予定量は、病床数380床、年間の入院延べ患者数11万8220人、1日平均の入院患者数323人、年間の外来延べ患者数24万3290人、1日平均の外来患者数915人です。収益的収入及び支出の予定額は、事業収益総額は121億9167万3000円、事業費用総額は127億2222万4000円となり、差し引き5億3055万1000円の損失を計上するものです。

平成27年度草加市 水道事業会計予算

業務予定量は、給水戸数12万戸、年間総給水量2630万㎡、1日平均給水量7万1858㎡です。

収益的収入及び支出の予定額は、事業収益総額は45億5053万1000円、事業費用総額は42億4943万4000円となり、差し引き3億109万7000円の利益を計上するものです。

条例等

草加市町会・自治会への 加入及び参加を促進する条例

町会・自治会への加入及び参加の促進に関し、基本理念を定め、住民、事業者、町会・自治会及び市の役割を明確にすることにより、住民がともに支え合える「つよいまち」づくりの推進に資するため、条例を制定するものです。

施行期日は平成27年4月1日。

草加せんべいの普及を 促進する条例

草加せんべいの普及の促進を通じて、本市における産業の振興及び地域社会の活性化を図り、魅力あるまちづくりに寄与するため、条例を制定するものです。

施行期日は公布の日。

草加八潮消防組合の設立

草加市及び八潮市の消防に関する事務を共同処理するため、草加八潮消防組合を設立するこ

とについて協議をするために、議会の議決を求めるものです。施行期日は平成27年10月1日。

人事

副市長の選任

中村 卓氏

平成27年3月31日をもって任期満了となる中村卓氏を引き続き副市長として選任することに同意を求めるものです。



〈主な経歴〉

中央大学法学部政治学科卒業、昭和49年草加市採用、企画財政部長、総合政策部長、市長付特別区・地方財政自立改革担当特命理事、市長付地方主権推進担当特命理事を歴任、草加市退職後、公益財団法人東京財団研究員及び構想日本政策担当ディレクター、平成23年4月副市長に就任、現在65歳。

教育委員会教育長の任命

高木 宏幸氏

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員会教育長に高木宏幸氏を任命することに同意を求めるものです。



〈主な経歴〉

東北大学教育学部教育学科卒業、昭和53年栄中学校教諭に就任、松江中学校校長、埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課管理主幹、埼玉県教育局市町村支援部副部長を歴任、埼玉県教育局退職後、平成23年4月教育委員会委員、教育長に就任、現在61歳。

市政に対する一般質問

ここに掲載したものは、全ての質問の中から1人の議員につき1項目を選び、質問、答弁の要旨を記したものです。

（掲載は発言順です）

地域の特性を踏まえた人口推計に基づき第四次総合振興計画策定を

〔質問〕佐藤憲和議員①地域の特性を踏まえた人口推計に基づき第四次草加市総合振興計画を策定すべきと考えるが、市の見解は。②厳しい将来予測であっても、目標とするまちを実現するための計画とすべきと考えるが、市の見解は。③改訂する都市計画マスタープランで、財政負担等を考慮する考えは。

〔答弁〕総合政策部長①地域の特性を踏まえた推計の必要性は認識しており、委託で実施する人口推計と松原団地建て替えの影響を考慮した人口推計の両者を踏まえるとともに、推計の持つ特性も考慮して計画策定の検討を進めている。②厳しい社会状況の中でも、市民サービスを縮小することなく、地域特性を生かした持続可能なまちづくりなどを進めることで、目指す将来像の実現を図っていきたい。

都市整備部長③今回の改訂では、既存の公共施設の活用や機能の複合化、改築、更新の時期等を検討するなど、総合的な財政負担の軽減や平準化による対応が必要であると考えている。

児童クラブの

待機児童対策には特別保育の実施以外の方法を

〔質問〕藤家議員①大幅な待機児童が見込まれる谷塚児童クラブ等では通年で、花栗南児童クラブ等では夏季休業期間等を対象に、公共施設等を活用して特別保育を実施することだが、児童クラブのかわりとして継続的に行うものではないとの認識でよいのか。②特別保育は、待機児童を対象に特別に実施されるもので、特例との認識でよいのか。



谷塚児童クラブ

〔答弁〕子ども未来部長①特別保育は待機児童を対象として実施するものであるが、利用者の意見や運営実態等を勘案しながら、運営水準等を検討し、安心して利用いただけるものとしていきたい。児童クラブに対するニーズは地域ごとなどで異なる予測は難しいが、将来的な利用規模、児童数の推移、小学校等の活用の可能性を検討するとともに、将来的な財政負担も視野に入れる中で、子どもたちが放課後に安心して過ごせる環境

づくり」に努めていく。②待機児童対策として行われる限りは、特例の取り組みと考えている。

スクールソーシャルワーカーの充実を

〔質問〕井手議員①草加市では、1名のスクールソーシャルワーカーが週2日、1日6時間、年間90日以内と限られた時間の中で活動を行っている。問題発見・情報収集・アセスメント・プランニング・モニタリングなど、個人とその環境に焦点を当てるソーシャルワークの広範囲にわたる業務内容を考えれば、スクールソーシャルワーカーを今以上に充実すべきと考えるが、市の見解は。また、問題解決には、教育と福祉が連携していくことが必要であると考えているが、福祉分野の専門家を配置する考えは。

〔答弁〕教育総務部長①学校と各関係機関とのネットワークを活用し、問題を抱えた児童・生徒が置かれた環境への働きかけを担うスクールソーシャルワーカーの役割はますます重要になっており、充実が必要になると考えている。教育委員会として、県に対して増員を要望するとともに、現体制の見直しや、福祉の専門家の配置を含めて検討していきたい。

清門町中通りの大型通行規制の一日も早い実現を

〔質問〕白石議員①清門町中通りの大型通行規制について、警察への市の対応は。②清門町中通りの大型通行規制は、地域との約束であるため、実現に向



清門町中通り

け、市は警察へ強く申し入れるべきと考えるが、市の見解は。

〔答弁〕市民生活部長①地域から要望を受け、清門町中通りの大型通行規制について草加警察署と協議し、大型車両の代替

土曜授業の早期実施を

〔質問〕芝野議員①1年でも早い土曜授業の実施に向けて、目標年度を立てて検討を始めるべきと考えるが、平成28年度または平成29年度の実施に向けた取り組みは。②土曜授業の実施について、市長の見解は。

〔答弁〕教育総務部長①学校週5日制の趣旨を踏まえる中で、次代を担う草加の子どものためのことを第一に考え、土曜日の有意義な過ごし方、学力の定着及び向上の観点から、土曜授業の実施も有効であると考えているが、実施には課題もあるため、できるだけ早い時期に組織を立ち上げ、土曜授業のあり方を検討していく。

市長②子どもたちの学力向上等には、土曜授業は有効な手段の一つであると考えており、幸手市、坂戸市で月1回、所沢市で年5回程度、東京都では月2

路線として一の橋伝右川線の吉長橋から川戸通りまでの大型通行規制の解除が必要となった。そのため、地域の同意を得るとともに、交通量調査を行い、平成21年7月に草加警察署へ要望書を提出し、平成22年4月に一の橋伝右川線の大型通行規制が解除されたが、清門町中通りの大型通行規制はされなかったため、要望書を再度提出し、その後も協議を重ねてきた。②清門町中通りは、大型車両が通行すべき道路ではないと認識しており、大型車両の利用を防止し、地域の皆様が安心して利用できる生活道路となるよう、引き続き

回以上実施する学校がふえてきている。土曜授業の実施には数多くの課題があるが、教育委員会が今後立ち上げる土曜授業のあり方を検討する組織の状況を見ながら検討していきたい。

市立病院のさらなる充実を

〔質問〕関議員①市立病院の病院事業管理者として、また、病院長として、市民の命と健康を守り、安全安心な医療を提供するために何が必要で、そのためにこれからの市立病院をどうすべきと考えているのか。

〔答弁〕病院事業管理者①市立病院がこれからも二次救急医療機関として医療を提供し続けるには、一次医療において地域医師会との密接な連携と地域での役割分担が必要であり、二次及び高度医療において東京医科歯科大学との協力体制が重要であると考えている。高い高齢化率が想定される中、高齢者の三大

羽田空港の飛行経路の見直し案国による説明会の開催を

〔質問〕斉藤議員①2020年の東京オリンピックを契機に、羽田空港の発着枠拡大により、南風運用時の午後3時から7時の間に草加市上空を124機、2分に1回飛行機が通過することだが、騒音以外にも氷などの落下物等のリスクがあるため、市民に対して国土交通省の担当者を招いた説明会を行うべきと考えるが、市の見解は。

〔答弁〕市民生活部長①平成26年6月に国が公表した羽田空港の飛行経路の見直し案について、草加市を含む県内関係自治体の意見を集約するため、県が設置した羽田空港の機能強化に関する県・市町村連絡協議会において、騒音や安全性についての情報開示と飛行経路の見直し案の住民への説明を国に求めている。引き続き県などと連携の上、国に対し、影響軽減措置を要請するとともに、早期に市民への丁寧な説明がされるよう求めている。説明会の開催が決定した際には、国や県と連携の上、開催の周知等について協力を行っていく。



草加市立病院

疾病のうち、発症後、時間的余裕がない心臓病や脳血管障害に對して、3年前に心臓・脳血管センターを立ち上げたが、がん治療に対しては十分とは言えない領域があるため、化学療法室や緩和ケア病棟の整備、病理診断医や放射線治療医の確保、がんの認定看護師や総合的ながん治療に必要な医療専門チームの養成を行い、おこなっているがん医療の準備を進めていく。

利便性に配慮したコミュニティバスの運行を

〔質問〕西沢議員①草加市公共交通再編計画の中で、コミュ

ニティバスについてどのように検討しているのか。②新栄町団地から市立病院へ行く場合に、既存路線では乗り継ぎが多く不便であるが、新規路線でその改善策は検討しているのか。

〔答弁〕市民生活部長①低料金で利用できる循環型のコミュニティバスの導入は、既存バス路線との競合を招くことが考えられる。国が示すバス導入時のガイドラインでも、既存路線との整合性に留意するよう指摘されており、新たな路線は、既存路線を補完する役割と位置づけ、交通不便地域等を経由し、駅や市立病院を目的地として基本ルートを設定している。②新栄町団地を初めとする新田西部地域から市立病院へは、現在在は鉄道を經由し2回以上の乗り継ぎが必要である。計画では1回の乗り継ぎでアクセスできるよう、新田駅から市立病院までを新規バス路線として位置づけ、周辺環境の動向を見据え、導入に向け検討を進めていきたい。

草加新政

質問者
切敷 光雄 団長

第四次総合振興計画策定の進捗状況と今後のスケジュールは

質問 現在、策定を進めている第四次総合振興計画の進捗状況と今後のスケジュールは。

答弁 平成25年度において、策定の基本方針を定め、市民参画の取り組みや庁内検討を進め、振興計画審議会で委員から意見をいただきながら、総合振興計画の基本構想、基本計画の素案を検討してきた。今後は、振興計画審議会の審議及び答申後、パブリックコメントで幅広く市民の皆様の御意見を伺い、必要に応じて計画案の修正をした上で、平成27年9月定例会に議案を提出したいと考えている。

都市計画マスタープラン改訂で大きな柱となるものは

質問 ①都市計画マスタープラン改訂に対する市長の思いは。②まちづくりにおける新たな取り組みと改訂の大きな柱として想定しているものは。

答弁 ①地域コミュニティの維持・発展を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めるとともに、地域特性を生かした持続可能なまちづくりを目指していきたい。②まちづくりの基本単位を、現行の各駅を中心とした生活圏等を踏まえた12地区から、町会・自治会のまとまりを基礎とした10地区に新たに再編するとともに、コミュニティを育む文化・交流機能の場として公

共施設等の活用や、各地区に日常生活に必要な機能を誘導するなど、地域の拠点づくりを大きな柱として取り組んでいきたいと考えている。
平成27年度の予算編成において市長が最も重視した点は

質問 市長が掲げるまじこう市政の実現のため、平成27年度の予算編成で最も重視した点と、まじこう市政2期目に向けた意気込みは。

答弁 きめ細かな福祉や教育政策等の推進には、つよい市役所、つよい地域力・市民力、つよい結束力、つよい財政が必要だと思うしており、こうした思いを反映した予算であると考えている。引き続き、フェアで市民のためのまじこう市政を貫くためにも、魅力と活気にあふれる草加のまちづくりに全力で取り組んでいく。

旧道沿道リノベーションまちづくり事業の内容は

質問 草加駅東口周辺の中心市街地ににぎわい創出に向けて実施する旧道沿道リノベーションまちづくり事業の内容は。

答弁 草加駅周辺の空き店舗や空き家といった遊休不動産に新たな機能や付加価値を加え、カフェやモノづくり工房、創業支援施設等、新しいビジネスや交流の場を創造し、雇用を創出するもので、北九州市小倉や和歌山市など全国各地で取り組みが進められている。



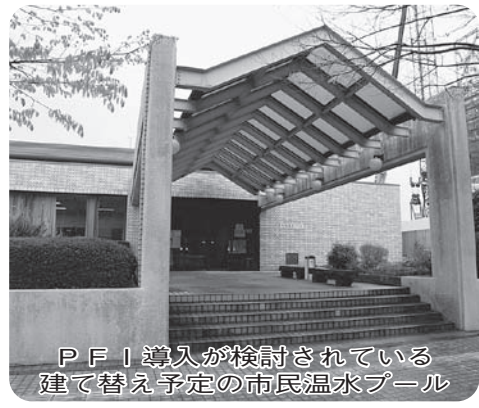
草加駅周辺の様子

会計が2億7000万円、合計15億5000万円程度と見込んでいる。

新たな行財政改革の方向性は

質問 地域経営をもととした新たな行財政改革と公共施設のあり方の見直しについて、どのような方向性を示すのか。

答弁 新たな行財政改革の視点としては、できる限り地域の人材や民間のノウハウを活用することなどが挙げられる。公共施設のあり方の見直しは、適切な維持管理による長寿命化などのほか、公共施設使用料の見直しや、民間の資金と経営能力・技術を活用したPFI手法の導入の検討を進めていきたい。こうした取り組みを通して、地域資源を有効に活用しながら、つよい市役所の実現に向けた新たな行財政改革を進めていく。



PFI導入が検討されている、建て替え予定の市民温水プール

市内限定プレミアム商品券の内容は

質問 市内限定プレミアム商品券の内容、経済効果及び使用できる店舗は。

答弁 販売総額9億円、プレミアム率30%の市内限定プレミアム商品券は、詳細は今後実行委員会等で検討されるが、幅広く購入してもらえらるよう、販売方法や1人当たりの販売上限額を慎重に検討するのとともに、使用できる店舗も市内の消費喚起のため、生活必需品を扱う商店に限らず、サービス業等でも使用できるように検討していく。また、

市民と協働した減災対策の内容は

質問 市民と協働した減災対策に力を入れることで、大規模な自然災害に負けないつよいまちづくりを進めていくとのことだが、具体的な内容は。

答弁 大規模災害に対応できる運営組織は、市内32校の指定避難所を単位に、構築を進めていく。運営主体の構成は、町会連合会などの市民団体を想定しており、各避難所に設置されている防災備蓄倉庫の管理から避難所運営までを、市職員や施設管理者である学校職員との協働により実施してもらうことを考えている。

健康づくりの現在の取り組み状況と今後の取り組みは

質問 運動、食生活、生活習慣の改善などの健康づくりの取り組みは、これからますます必要になると思うが、現在の取り組み状況と今後の取り組みは。

答弁 平成26年度は、運動、食に関する簡単な知識を習得してもらう中で、地域の中で広げてもらう健康づくり応援隊の養成を行っていたほか、SKT24ムービーの公開や高年者向けのリフレットの作成によりSKT24の周知を行っていた。平成27年度は、「そうか みんなで健康づくり計画」に基づいてSKT24のさらなる推進を初め、健康づくりのさまざまな取り組みを市民の皆様とともに着実に広げていく。

代表質問

代表質問は、草加新政、公明党、日本共産党、自由市民クラブの各会派代表4人の議員により行われました。（質問・答弁の要旨を掲載）

日本共産党

質問者
平野 厚子 団長

女性の正規雇用と雇用継続を促進するための取り組みを

質問 共働きで子育てをしながら納税している課税所得200万円以下の市民が、正規社員となつて所得がふえるよう、また、女性が正規社員の身分のままで子育てができるよう、さらには、草加市でたくさん雇用が生み出せるよう、未来の草加を展望していく必要があると考えるが、市の見解は。

答弁 近年、特に若年層の非正規雇用者が大きく増加している中で、正規雇用を希望する非正規雇用者も多く、草加市では、女性の再就職の機会を創出するために、埼玉県女性キャリアセンターとの共催で、託児つきの就職支援セミナーを開催している。また、平成27年度にニート、ひきこもりなどの自立支援のため、埼玉とうふ若者サポートステーションとの連携で、月1回、日曜日に相談会を開催する事業を予定しており、今後も引き続き正規雇用を生み出せるような就労支援に取り組んでいく。

答弁 平成27年度から第6期草加市介護保険事業計画がスタートするが、この3年間で特別養護老人ホームなどの施設整備はどのようにするのか。

答弁 第6期草加市介護保険事業計画における施設整備については、平成29年度に定員120人規模の特別養護老人ホーム1カ所、定員29人以下の小規模な特別養護老人ホーム1カ所、定員50人規模の介護付き有料老人ホーム1カ所の整備をそれぞれ予定している。

教育委員会の独立性の確保について市長の見解は

質問 昨年6月、地方教育行政法が改正され、教育の行政からの独立のための柱が崩された。草加市においては、法施行と同時に条例改正が行われようとしているが、教育委員会の独立性の確保について、市長の見解は。

答弁 教育委員会は、法施行後においても、その職務権限に変更はないことから、引き続き本市の教育行政をみずからの責任と権限において管理し、執行する機関であると認識している。今後も独立した執行機関である教育委員会の意思を尊重しながら、相互に連携を図り、市政を推進していきたい。

子ども・子育て支援新制度における保育料は

質問 子ども・子育て支援新制度では、保育園の保育料の基準が変わることだが、この時期になって保育料の値上げによる新たな負担の発生は許されないと考えるが、どのように対応するのか。

答弁 本年1月23日に開催された自治体向け説明会資料の中で国から示された案の額に基づき、保護者の負担に配慮した保育料となるよう調整し、保護者に知ら

り組んでいく。
特別養護老人ホームなどの施設整備計画は

質問 平成27年度から第6期草加市介護保険事業計画がスタートするが、この3年間で特別養護老人ホームなどの施設整備はどのようにするのか。

答弁 第6期草加市介護保険事業計画における施設整備については、平成29年度に定員120人規模の特別養護老人ホーム1カ所、定員29人以下の小規模な特別養護老人ホーム1カ所、定員50人規模の介護付き有料老人ホーム1カ所の整備をそれぞれ予定している。

教育委員会の独立性の確保について市長の見解は

質問 昨年6月、地方教育行政法が改正され、教育の行政からの独立のための柱が崩された。草加市においては、法施行と同時に条例改正が行われようとしているが、教育委員会の独立性の確保について、市長の見解は。

答弁 教育委員会は、法施行後においても、その職務権限に変更はないことから、引き続き本市の教育行政をみずからの責任と権限において管理し、執行する機関であると認識している。今後も独立した執行機関である教育委員会の意思を尊重しながら、相互に連携を図り、市政を推進していきたい。

子ども・子育て支援新制度における保育料は

質問 子ども・子育て支援新制度では、保育園の保育料の基準が変わることだが、この時期になって保育料の値上げによる新たな負担の発生は許されないと考えるが、どのように対応するのか。

答弁 本年1月23日に開催された自治体向け説明会資料の中で国から示された案の額に基づき、保護者の負担に配慮した保育料となるよう調整し、保護者に知ら

て暮らせること、健康な生活を送れること、居住環境が快適であること、趣味や仕事に生きがいを見出せることなど、暮らしの中に豊かさを実感できることをイメージしている。

草加松原治いの綾瀬川で和舟を活用した観光の推進を

質問 新たな体験型の観光資源として、市民が試験的に実施している綾瀬川の和舟がある。将来は草加松原と東京湾の間で舟行が可能になればよいと思うが、和舟による観光について、市長の見解は。

答弁 現在、草加松原治いの綾瀬川で、市民団体により和舟を活用した観光の取り組みが進められており、この取り組みを拝見し、乗船もさせていたたい。

草加松原

せできるよう準備を進めている。
学校施設整備計画策定の進捗状況は

質問 国において現在、施設の長寿命化に関する調査・研究がなされており、その検討結果を踏まえ、建物の長寿命化による大規模改修や非構造部材の耐震化とあわせて、建て替えも含めた学校施設整備計画の策定を進めていくと、平成25年6月定例会において答弁していたが、その後の計画の策定状況は。

答弁 学校施設整備計画の策定については、草加市では、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっており、平成27年度に公共施設等総合管理計画の策定を予定している。それを受け、教育委員会としては学校施設整備計画を策定していきたいと報告を受けている。



建て替えられた栄小学校

コミュニティバスの運行内容は

質問 平成27年度から市長の公約であったコミュニティバスの運行が予定されているが、運行開始時期、バス利用料及び運行本数などどのようなものになるのか。

答弁 新たなバス路線の運営、運行本数などについては、目的地や経路が重複する既存路線への影響に配慮し、走行距離に応じた運営と、1日当たりの運行本数は谷塚西部地区への路線が18本以上、草加川柳地区への路線は24本以上、事前に、平成27年度中の運行開始を目指して調整していきたい。

足立区花畑への大学移転に伴う対応については、地域の意向や足立区のまちづくりの動向を踏まえるながら、情報共有や意見交換などによる連携を図る中で対応を検討していく。

市内県立高校へ体育科の設置を

質問 市内4校の県立高校の1校に体育科を設置することはできないか。昨年の12月初めに埼玉県教育局の関係者を訪ね直接話を伺ったところ、地元の要望や市や高校からそういった話があれば、検討していくとのことだったが、市の見解は。

答弁 市内県立高校への体育科の設置については、現在、埼玉県内で体育科を設置しているのは2校、体育コースを設置しているのは1校あり、それらの学校へ志願している市内の中学生は10人前後となっている。今後、体育科への希望者がふえる状況になれば、県への要望などについて検討したい。

2020年東京オリンピック・パラリンピックへの取り組みは

質問 外国人選手団の事前キャンプの誘致や草加市内に聖火リレーを通すことなどを含めた庁内での検討経過やこれまでの取り組み状況は。

答弁 昨年9月に草加市東京オリンピック・パラリンピック検討委員会を設置し、事前キャンプ誘致など国との連携事業や、本市にゆかりあるオリンピック応援事業、オリンピック・パラリンピック応援団派遣事業、公益財団法人草加市体育協会連携事業、聖火リレー誘致・応援事業等を案としてまとめている。また、東京オリンピック・パラリンピックの準備局を訪問し、本市の今後の取り組み内容を説明し、また、埼玉県で開催される事前キャンプ研修会、都庁での事前キャンプ候補地説明会への出席等、関係機関へ協力の働きかけを行ってきた。

予算特別委員会の審査概要

2月25日の本会議において、13人の委員で構成する一般会計予算特別委員会が設置されました。一般会計の予算審査は広範囲のため、特別委員会を設置し、審査したものです。予算審査は、3月4日から3月6日までと3月18日の4日間で行われ、委員会では賛成全員により平成27年度草加市一般会計予算を原案どおり可決しました。以下は委員会における質疑及び答弁の概要をまとめたものです。

歳入

【質疑】給与所得者の課税標準額の段階別人数の割合は。

【答弁】200万円以下の区分が60・5%、200万円を超え700万円以下の区分が37・0%、700万円を超え1000万円以下の区分が1・4%、1000万円を超える区分が1・1%。

委員会の構成は、次のとおりです。

小川 利 八	委員長
吉岡 健	副委員長
後藤 香 絵	委員
佐藤 利 器	委員
佐藤 憲 和	委員
齊藤 雄 二	委員
広田 丈 夫	委員
井手 大 喜	委員
切敷 光 雄	委員
吉沢 哲 夫	委員
西沢 可 祝	委員
松井 優 美 子	委員
小澤 敏 明	委員

(委員は議席番号順)

歳出

【質疑】本庁舎建設事業の整備手法検討委託料の内容は。

【答弁】本庁舎の整備手法としてPFIを検討するために、事業の範囲や事業期間等を設定し、民間事業者へのヒアリング等を行うとともに、草加市の人口の約1%に当たる2500人を対象に、庁舎に求められる役割や機能等についての市民意向の調査を実施する。



草加市役所本庁舎

【質疑】固定資産税の変更内容は。

【答弁】平成27年度は、評価替え基準年度に当たることから、評価額の見直しを行っており、土地については、下落修正を毎年実施していることから変動は少ないが、家屋については、在来家屋の経年減価による減価分を減額している。

【質疑】軽自動車税の税制改正による影響額は。

【答弁】約1900万円の増を見込んでいる。

【質疑】消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金の影響額とその影響額のうち社会保障施策への充当額は。

【答弁】影響額は14億9000万円程度を見込んでおり、全額が社会保障施策に充当される。

【質疑】平成26年度末及び平成27年度末の基金残高は。

【答弁】全ての基金の合計で、平成26年度末は95億2955万9000円、平成27年度末は33億2386万1000円減の62億569万8000円と見込んでいる。

発生した場合の被害想定を独自に行い、その被害想定をもとに地域防災計画を改訂する予定で、他自治体では、さいたま市が同様に独自で被害想定を行っている。

【質疑】スポーツ振興事業の温水プールPFIアドバイザリー業務委託料の内容と今後のスケジュールは。

【答弁】平成27年度は、コンサルタントに委託して、PFI導入の可能性の調査を行うとともに、建物や機能等について検討を行い、平成28年度、平成29年度はその継続とPFIの契約を締結する予定で、新たな建物を建設するまでは、現在の温水プールを継続して使用していく。

【質疑】観光推進事業の計画策定業務委託料の内容は。

【答弁】平成27年度に計画期間

【質疑】口腔がん検診の内容は。

【答弁】平成27年度から新たに行うもので、50歳以上の対象者約10万人のうち、1・4%の約1400人を受診者と見込み、事業開始のための電算システムの経費を含め総額で1332万円を計上しており、検診は草加歯科医師会の協力をいただき実施する。

【質疑】創業支援事業の事業内容及び創業ワンストップ相談窓口の設置場所は。

【答弁】この事業は、平成26年度に総務大臣並びに経済産業大臣から認定を受けた草加市創業支援計画に基づく事業で、開業資金300万円程度の創業を期待し、創業啓発講演会を年間2回、創業塾を年間4回、創業支援型空き店舗活用事業を1件分



草加市観光基本計画

が満了となる草加市観光基本計画の改定を予定していることから、その計画策定の業務委託料一式として300万円を計上しており、中長期的な目標やおもてなしによる草加らしい観光の確立、市内4駅ごとのエリアアップなどを盛り込んでいきたい。

【質疑】生活困窮者自立支援事業において、平成27年度は学習支援教室をどのように実施する予定なのか。

【答弁】草加市、越谷市、八潮

計上しており、草加商工会議所に相談窓口を設置する。



草加商工会議所

【質疑】都市計画マスタープランの策定に当たり、どのように事業を進めていくのか。

【答弁】平成27年度は、市内10地区で地区懇談会を開催するなど、各種団体から幅広い意見を聞く中で素案を策定し、その後、パブリックコメントを実施し、都市計画審議会の答申を得て、都市計画マスタープランを策定していく。

市、三郷市、吉川市の各市で教室を設置し、そのスケールメリットを生かし、コスト削減に取り組むとともに、相互利用できるように実施していく。

【質疑】きたや保育園建替事業の事業内容及び今後のスケジュールは。



きたや保育園

【答弁】新園舎を松原五丁目にある公有地に建設後、あさひ保育園、しんぜん保育園及びこやま保育園の耐震補強工事を行う際の仮園舎として活用すること

【質疑】草加市八潮市消防広域化事業の事業内容は。

【答弁】平成27年度は、人事給与システムなどの構築、車両などに記載されている組織名の変更などを行い、平成27年10月に広域消防組合を設立し、平成28年4月1日から消防事務の共同処理を開始する予定。



草加市消防本部

【質疑】子ども大学そうか事業の事業内容は。

【答弁】地域の大学や企業・団体と連携して、子どもの知的好

を考えており、平成27年度に基本設計及び実施設計、平成28年度に建設、平成29年度に仮園舎として活用した後、平成30年度には新園舎で事業を開始する予定。

【質疑】埼玉県地域猫活動推進事業費補助金の内容及び市の負担割合は。

【答弁】この事業は埼玉県が野良猫対策として、地域の理解を得た上で、地域に住みついた野良猫をこれ以上ふやさないために不妊・去勢手術を施し、その猫が命を全うするまで、地域において適切に管理している団体に対し、必要な経費を補助するもので、平成27年度から平成29年度の3年間の実施を予定しており、県から全額補助金が交付されることから、市の負担はない。

好奇心を刺激する新たな学びの場を提供することを目的として、獨協大学との共催により、平成27年度は小学校高学年を対象に全4日間の開催を予定しており、開催時期及び講座内容については、今後、獨協大学と協議していく。

【質疑】国指定名勝保存活用計画策定業務委託の内容は。

【答弁】国指定名勝の草加松原の文化財としての価値を継承していくために、適切な管理や活用が図られるよう、文化庁から示された基準に基づき、平成27年度から2カ年をかけて計画を策定していくものであり、平成27年度は、専門のコンサルタントを活用して、草加松原の現状や今後の課題を整理し、保存のための整備・活用方針を検討していく。

特別会計予算の審査概要

各常任委員会は、一般質問終了後の3月16日と3月17日の2日間開催されました。以下は各常任委員会における、平成27年度特別会計・企業会計予算の質疑及び答弁の概要をまとめたものです。

草加市後期高齢者医療特別会計予算

【質疑】前年度及び県の平均と比較した、平成27年度の平均保険料は。

（答弁）平成27年度当初予算における平均保険料は7万6899円で、前年度の当初賦課額と比べると563円高く、県の平均と比べると1682円高い。

草加市介護保険特別会計予算

【質疑】居宅介護サービス給付費が増となった理由と、特に伸びているサービスは。

委員会提出議案

委員会提出議案は1議案が提出され、可決しました。

■草加市議会委員会条例の一部を改正する条例

行政組織の改正及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、第2条第2項第3号イ中「水道部」を「上下水道部」に改めるとともに、第21条中「教育委員会の委員長」を「教育委員会の教育長」に改めるものです。
施行期日は平成27年4月1日。

た理由は、被保険者数が減少傾向にあるものの、少子高齢化の影響により1人当たりの医療費が増加しているためであり、被保険者1人当たりの保険給付費は24万2813円で、対前年度比8756円の増と見込んでいる。

草加市立病院事業会計予算

【質疑】前年度と比較した、入院延べ患者数及び外来延べ患者数の増減は。

（答弁）入院延べ患者数は対前年度比280人の増、外来延べ患者数は対前年度比4020人の減。

草加市水道事業会計予算

【質疑】吉町浄水場庁舎の解体理由及び今後の事業スケジュールは。

（答弁）解体理由は、近い将来に発生が懸念されている東京湾

議員提出議案

議員提出議案は3議案が提出され、2議案を可決、1議案を否決しました。可決した意見書は関係行政庁へ送付しました。

■ドクターヘリの

安定的な事業継続に対する支援を求める意見書

政府においては、将来にわたってドクターヘリを安定して運用していくために、次の事項について、適切な措置を講ずるよう強く求めるものである。
①医療提供体制推進事業費補助金の基準が、事業運営の実態に

北部地震等に備えて、解体後の跡地に耐震性を有した配水池を建設するためであり、今後の事業スケジュールは、平成27年度からの2カ年で吉町浄水場庁舎の解体工事を行い、平成28年度からの2カ年で配水池の建設工事を行う予定。



移転した水道庁舎

草加市公共下水道事業特別会計予算

【質疑】平成27年度における公共下水道汚水整備事業及び公共下水道雨水整備事業の主な整備内容は。

（答弁）公共下水道汚水整備事

即したものとなっているかを検証し、算定方法及び基準額の改善を図るとともに、財源の確保に努めること
②ドクターヘリの安全・安定的な事業継続のために、操縦士を初めとするドクターヘリ運航従事者の育成・確保に対して必要な支援を行うこと

③商店及び商店街の再建に向けて、グループ補助の充実・拡大、小規模事業者の支援、二重ローンの解決、販路の回復など、事業者への直接支援を強化し、早期の事業再開と雇用確保を支援すること
④「集中復興期間」終了後となる平成28年度以降も復興事業への国庫負担を減らさないこと

■被災者の生活とわいわいが再建され被災地の復興がなし遂げられるまで支援を続けるよう求める意見書

政府においては、次の事項について、適切な措置を講ずるよう強く求めるものである。
①被災者生活再建支援金を初

業については、新田駅西口土地区画整理事業地内に公共下水道を整備する予定であり、また、公共下水道雨水整備事業については、松江第1排水機場の改修工事、松江第2排水機場の建設工事及び中央ポンプ場の機械設備工事などを行う予定。

草加都市計画事業新田駅西口土地区画整理事業特別会計予算

【質疑】平成27年度末の道路の整備延長及び整備率並びに建物の移転棟数及び移転率は。

（答弁）道路の整備延長は、全体計画2860mのうち平成27年度は239mを整備すること、累計では471m、整備率は16・5%を見込み、建物の移転棟数は、全体計画114棟のうち平成27年度は7棟の移転を予定しており、累計では18棟、移転率は15・8%を見込んでいる。

草加都市計画新田西部土地区画整理事業特別会計予算

【質疑】換地処分後の清算金の交付・徴収に係るスケジュールは。

（答弁）清算金決定通知書を平成27年4月から5月ごろにかけて対象者に送付し、8月ごろから清算金の交付・徴収を行い、分割徴収の方については平成28年2月ごろから2回目の徴収を行う予定。

草加市駐車場事業特別会計予算

【質疑】アコス地下駐車場における漏水対策工事の内容は。

（答弁）これまで平成24年度に地下1階、平成26年度に地下2階の漏水対策工事を行ってきたが、平成27年度は地下3階において、水分と反応して硬化する薬剤を漏水箇所注入する工事

を予定しており、今回の工事の実施により、漏水対策工事は完了する。

草加市交通災害共済事業特別会計予算

【質疑】平成27年度における交通災害共済の加入者の見込みは前年度比で2051人増の5万3160人を見込んでいるとのことだが、この加入者をふやすための取り組み内容は。

（答弁）平成26年度の交通災害共済の加入分については、過去3年間に一度でも加入したことがある方にパンフレット等を送付した結果、平成27年1月末現在の加入者数が平成25年度と比較して約800人増加したことから、平成27年度分については、さらに対象者を拡大して過去5年間にさかのぼり、パンフレット等を送付することで、加入者の増加につなげる取り組みをしていく。

市議会を傍聴してみませんか

●傍聴

市議会は、毎年2月、6月、9月及び12月の年4回の定例会と、必要に応じて臨時会が開かれており、市民に直結した議案及び請願の審議に当たっています。市民の皆様が選んだ代表者が、どんな活躍をしているか、ぜひ一度市議会を傍聴してください。

●議会を傍聴される前に

傍聴申込書に住所、氏名と当日の日付を記入の上、キリトリ線から切り取り、記載台に備えつけられている箱に入れてください。残った傍聴券は、お手元にお持ちください。

No. _____	No. _____
一般傍聴申込書	一般傍聴券
私は、平成____年____月____日 議会の傍聴を申し込みます。	平成____年____月____日議会の 傍聴を許可します。
草加市議会議長 様	
住 所 _____	草加市議会議長 〇 〇 〇 〇
氏 名 _____	注意：裏面をお読みください。

●傍聴上の注意

傍聴する際には次の事項を守って傍聴してください。

注 意 事 項

- 1 議場に入場したら速やかに着席してください。
- 2 傍聴席では、私語を慎み、次の事項を守ってください。
 - (1) 拍手などによる意思表示をしないでください。
 - (2) みだりに席を離れないでください。
 - (3) はちまき、腕章などをしないでください。
 - (4) 帽子、コート、マフラーなどを着用しないでください。
 - (5) 飲食や喫煙をしないでください。
 - (6) 携帯電話、パソコン等の電源をお切りください。
 - (7) その他議場の秩序を乱したり、会議の妨害となるようなことをしないでください。
 - (8) 写真、ビデオ等を撮影したり、録音をしたりしないでください。
- 3 会議終了後は速やかに退場してください。
- 4 傍聴される方は、担当者の指示に従ってください。
- 5 傍聴券は、お帰りの際、議会事務局まで返還してください。

審議結果一覧

○:賛成 ×:反対

議案番号／議案名			草加新政													公明党					共産党				※自由市民		一	議決結果			
			切敷光雄	鈴木由和	小川利八	吉岡健	井手大喜	小澤敏明	芝野勝利	関一幸	中野孝修	白石孝雄	佐藤利器	新井貞夫	浅井昌志	宇佐美正隆	飯塚恭代	西沢可祝	広田丈夫	金井俊治	佐々木洋一	平野厚子	斉藤雄二	佐藤憲和	藤家諒	後藤香絵	佐藤勇		松井優美子	田中宣光	吉沢哲夫
【平成27年2月定例会】 2月25日～3月23日																															
市長提案	1	平成26年度草加市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	2	平成26年度草加市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	3	平成26年度草加市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	4	平成26年度草加市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	5	平成26年度草加市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	6	平成27年度草加市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	7	平成27年度草加市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	8	平成27年度草加市交通災害共済事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	9	平成27年度草加都市計画新田西部土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	10	平成27年度草加市駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	11	平成27年度草加都市計画事業新田駅西口土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	12	平成27年度草加市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	13	平成27年度草加市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	原案可決
	14	平成27年度草加市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	15	平成27年度草加市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	16	平成27年度草加市立病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決	
	17	草加市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	18	草加市町会・自治会への加入及び参加を促進する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	19	草加市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	20	草加市開発・建築関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	21	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	原案可決
	22	教育委員会の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	原案可決
	23	草加市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	原案可決
	24	草加市立児童館設置及び管理条例及び草加市立市民交流活動センター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	原案可決
	25	草加市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	原案可決
	26	草加市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	27	草加市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	28	草加市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	29	草加せんべいの普及を促進する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	30	草加市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	31	草加市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	32	草加八潮消防組合の設立について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	原案可決
	33	副市長の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	同意
	34	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	同意
	35	職員の給与に関する条例及び草加市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
※委	委1	草加市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
※議	議1	ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議2	被災者の生活となりわいが再建され被災地の復興がなし遂げられるまで支援を続けるよう求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議3	政党助成制度の廃止を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	否決	
請願	請1	介護報酬の引き下げ反対の意見書を国に提出を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	不採択	

・議長は表決に加わりません。・表中の「※自由市民」は「自由市民クラブ議員団」の略です。
・表中の「※委」は「委員会提出議案」の略、「※議」は「議員提出議案」の略です。

次の定例会は
6月4日(木)からの予定です

問い合わせは議会事務局議事課まで
☎048(922)2458

これら
の行為は
全て
禁止です

お祭りへの
寄附や差し入れ

町会の集会や旅行等の
催し物への寸志や
飲食物の差し入れ

Q: 地域のお祭りへの寄附を地元の政治家にお願いしたいのですが。

A: 仮に地域の人、全員に勧誘する場合でも、政治家に対しては寄附を勧誘・要求することはできません。同様に募金を求めることもできません。

Q: 地域の会合に出席した政治家は飲食代を支払えますか。

A: 会費制でない会合の場合は、例え飲食物の実費相当額であっても支払うことができます。会費制の会合の場合は、ほかの参加者と同額の会費であれば支払うことができます。

求めない、受け取らない
政治家の寄附行為は禁止です

寄附の禁止Q&A

普段、当たり前と思っていることも、寄附とみなされ、禁止行為になる可能性があります。

病氣見舞い

Q: 政治家が選挙区内の人に病氣見舞いを送ることはできますか。

A: 罰則をもって処罰されます。病氣見舞いのほか、葬式の花輪・供花、お中元、お歳暮、お年賀なども送ることはできません。